



青南だより

令和8年9月号
港区立青南幼稚園
園長 石川 典子

子どもが大きく成長する2学期

2学期は夏から秋、初冬へと季節の変化が大きく、子どもたちは身近な生き物や植物、自然事象への興味や関心を高め、気付いたり、不思議に思ったりしていきます。自然体験を通して、子どもたちに自然を愛する気持ちや命あるものを愛おしむ気持ちの芽生えを培っていきます。また、運動会や作品展、発表会など楽しい行事に取り組む中で、運動、描画、製作的・音楽的表現など、繰り返し楽しんで経験できるようにしていきます。今学期も子どもたちの体験の充実に向け、教育内容や教材、指導等を工夫していきます。引き続き、教育活動へのご理解・ご協力よろしくお願いいたします。



自発的な「遊び」こそ真の「学び」

幼児は、興味をもった遊びに主体的に取り組み、自分なりに試行錯誤しながら夢中になって探究する質の高い遊びの中で最も頭を使います。自分の頭で考え抜く力（主体的で深い学び）、他者と協同して学ぶ力（対話的で深い学び）を体験します。乳幼児期には、何かができるようになる、知識が豊富になる、ことが大事なのではなく、頭を使う経験が大事です。文字や計算などの知識を学んだり覚えたりすることではなく、自発的な遊びの中の「探索」（内容ややり方などが決まっていなくて、自分の目的に向けてあれこれ試行錯誤すること）により考える力が育まれます。その力は生涯にわたり、主体的で柔軟かつ創造性豊かな日常生活の基盤となります。

子どもの「自発性」を大切に

人は「自発的に行動したい」という欲求をもって生まれてきます。しかし『〇〇ができるようになる』など、大人の思い通りに育てようとする、子どもは他者からの評価や報酬が目的に代わり、やらされている感覚が生じ、自発的な動機が失われ、自ら主体的に行動できなくなります。子どもに何かを教え込めば吸収しますが、「すごいことをさせる」ことは、長期的に見ると意味がありません。大人は、子どもに自分の考えを押し付けたり、先回りしてコントロールしたりするのではなく、子どもの思いや興味・関心を大切に、安心して挑戦できるように見守ることが必要です。「自ら気づき、考え、行動する」経験ができるよう、今学期も園と家庭で子どもたちの豊かな生活を支えていしましょう。

令和8年度 港区立青南幼稚園経営計画 — 主体性を発揮して みんな笑顔の幼稚園 —

(2) 幼児の主体性を重視し、豊かな感性と創造性を育み、思考力の芽生えを培います。

① 遊びに没頭する中で、心動かされる体験を重ね、幼児自らが、気付き・考え・判断し、行動する中で、試行錯誤や振り返りの経験を積み重ねられるようにします。

(港区立青南幼稚園 経営方針 今年度の主な取り組みより)

